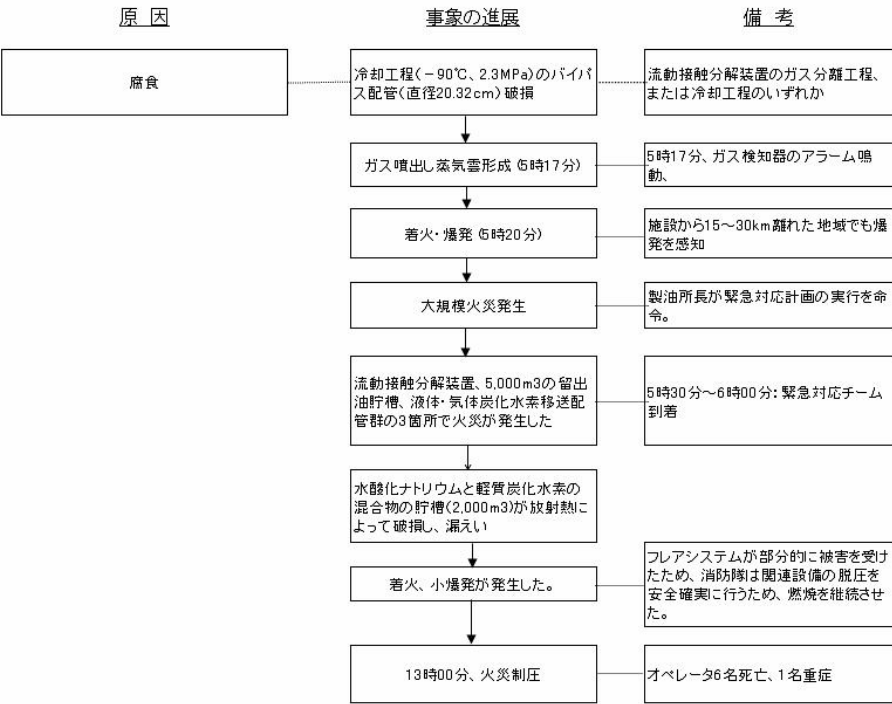




流動接触分解装置でガス漏れ爆発

事象進展図

00206	流動接触分解装置でガス漏れ爆発
発災年月日	1992年11月9日
装置	流動接触分解装置
運転状況	定常運転中
特徴	ドミノ効果により被害が拡大した事故事例



再発防止対策
1. 企業の基準に沿った防爆構造を持つ制御室の設置を早急に計画する。防爆構造の建築物であれば破壊することなく衝撃波による圧力に耐え、爆発中・爆発後も操作を継続できる。
2. 振動による疲労、衝撃への対策として、管径10.16cm未満の配管やシェルに接続するタップ、ノズル、配管取り付け具をガセットにより強化する。
3. グループ内製油所に対し、同様の構造を持つ全ての配管(バイパス、分岐継手部、行き止まり配管、配管ラックのシュー部)の検査実施計画を定め実施する。
4. グループ内全製油所の様々な専門分野の人員から成るワーキング・グループを組織し、配管点検マニュアルを改訂する。
5. ガス検知器の装置内設置位置を定める仕様書を準備する。

安全専門家コメント
当該事故はバイパス配管の腐食が発端となり、オペレータが6名死亡した。製油所の現場で働く人が自らを守り、同僚を守る方法がある。 (1)設備の全体を掌握する。 (2)チームの行動を掌握する。 (3)現場の整理整頓を徹底する。 (4)論理的に納得できないことには進めない。 (5)人と設備に愛情を注ぐ。 当該事例は(1)(3)(5)で防止できた。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
腐食	配管の破損	《保守・点検要因》不明



流動接触分解装置でガス漏れ爆発

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・ EC, MAHB, MARS Database search
(<http://mahbsrv4.jrc.it/mars/servlet/GenQuery?servletaction=ShortReports>)
- ・ TNO, FACTS, No.11580

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 流動接触分解装置 > FC,FCC
- 🔑 槽 > ドラム,受槽,ベッセル
- 🔑 配管 > パイプ

▶ 関連情報



[EC, MAHB, MARS Database search](http://mahbsrv4.jrc.it/mars/servlet/GenQuery?servletaction=ShortReports)